

福祉のひろば

2023.11
71

「福祉のひろば」へのご意見募集中!



アンケート入力フォームから広報紙へのご意見をぜひお寄せください!
記事の感想や掲載してほしいことなど
みなさまの声をお待ちしています!

青森県社協ウェブサイト

「福祉ネットあomorい」はこちら →

URL <http://aosyakyo.or.jp/>



P2-3 特集

高齢社会を支える 生活支援コーディネーター

高齢者と地域の「橋渡し役」として注目されている生活支援コーディネーターをご紹介します!

P5 ボランティア活動情報

八戸あおば高等学院
「ふれ愛・あおば食堂」



こども食堂でのボランティア

地域への貢献と同時に、学生の成長のきっかけにもなっているこども食堂でのボランティア。活動の様子や参加している学生の想いをご紹介します!

P9 ふくしワークLINE

- ・介護現場の質の向上に向けて!
「介護サポーター」採用事業
- ・公式Instagram開設!
- ・求職者と求人事業所の懸け橋に!
福祉人材センターの就職支援



福祉事業所・福祉職の方に向けた情報をお知らせ!

P6-7 発信! 県社協

- ・秋田県内の災害ボランティアセンターに応援職員を派遣
- ・運営適正化委員会の福祉サービスの質の向上の支援
- ・～ソウェルクラブ～
福祉の職場の福利厚生を支援 ほか
県社協が取り組んでいる活動をご紹介します!

P10 みなさまの善意に感謝!

県社協への寄附・善意銀行への預託をご紹介します!

P11 スポットライト

社会福祉法人弘前乳児院
家庭支援専門相談員兼主任 長尾 麻実さん
県内の福祉の現場で活躍している人物をご紹介します!

P12 県社協から

青森県社会福祉協議会のInstagram

高齢社会を支える 生活支援コーディネーター

今回の特集では、地域の高齢者支援の現場で活躍している生活支援コーディネーターについて紹介します。

地域の「橋渡し役」

生活支援コーディネーターは、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、高齢者の生活支援や介護予防の環境を整備し、支援を必要としている人にサービスを繋げていきます。

高齢化や介護の担い手不足が進む中、高齢者と地域の「橋渡し役」として生活支援コーディネーターが活躍し、注目されています。

不足しているサービスを発見

生活支援コーディネーターの活動は市町村全域及び日常生活圏域において行われます。

下記のイメージの様に、基本的には第1層は市町村区域、第2層は中学校区域を設定して活動しており、地域のニーズの把握や新たな資源の発見・開発、関係機関のネットワーク作りを主たる役割としています。

具体的には、地域で不足しているサービスを発見するほか、既存の組織

に多くの住民が参加しやすいように働きかけたり、新たな組織の立ち上げを支援しています。

行政的なサービスだけではなく、地域の中にある支え合いの場や見守り活動等を促進することで、地域のさまざまな課題を解決するために日々取り組んでいます。

生活支援活動の充実をめざし

青森県では、高齢者の介護予防を目的として、体操や趣味活動を行うサロン活動を1200ヶ所以上で実施しています。一方、サロン以外の生活支援活動の実施率は低い状況で、高齢者等の自宅に食事を届ける配食サービスの実施率は17%程度となっています。

現在行われているサロン活動等の取り組みを支援していくことに加え、配食サービス、ゴミ出しや電球交換を行う訪問型サービス、買い物支援、安否確認などの日常的な何気ない生活支援を取り入れながら、住民参加による地域の支え合い活動の充実をめざす必要があります。

生活支援コーディネーターのイメージ

第1層 (市町村区域)

- ① 地域ニーズと資源状況の可視化・問題提起
- ② 地域資源の開発
- ③ 多様な組織への協力依頼等の働きかけ
- ④ 関係各所とのネットワーク化・連携

第2層 (中学校区域等)

第1層の機能の下、上記①～④の機能を行うほか、ニーズとサービスのマッチングを行う

連携

青森県内における第1層の生活支援コーディネーターの構成員状況

- ・市町村社協
- ・行政
- ・地域包括支援センター
- ・在宅介護支援センター



青森県内における第2層の生活支援コーディネーターの構成員状況

- ・市町村社協
- ・行政
- ・地域包括支援センター
- ・在宅介護支援センター
- ・民生委員
- ・地域住民



三沢市社会福祉協議会「住民と協力して地域を支える取り組み」

全国的に第2層の生活支援コーディネーターは、社協職員や行政職員、地域包括支援センター等の専門職が配置されている中、三沢市では地域住民が第2層の役割を担っています。

三沢市社会福祉協議会の 渡辺 恵 地域福祉課長に取り組みについてのお話を伺いました。



地域と一緒に取り組む

生活支援コーディネーターの活動開始に向けた市との協議の中で、「第2層の生活支援コーディネーターは地域をよく知る地域住民に」という方針が決まりました。

そこで、第1層の生活支援コーディネーターである社協職員が地域の集いの場に伺い、一緒に活動したり、様子を取材する中で、熱い思いを持って活動しているたくさんの方々に出会い、「地域活動で輝いているの方々」に、第2層の生活支援コーディネーターを担っていただいて、現在に至っています。専門職ではないため、初めは用語や制度も調べながらの活動でしたが、勉強を重ね、持ち前の前向きなパワーで活動へのさまざまなアイデアをいただいています。行政・社協・地域のコーディネーターが一体となって活動しているのが特徴です。



サロンの立ち上げのアイデアや活動支援も第2層の生活支援コーディネーターが力を発揮しています

ニーズから新たな事業をスタート

三沢市では毎月1回、行政・社協・地域の生活支援コーディネーターが集まるミーティングを開催していて、その中で、地域活動の情報共有や研修、課題解決に向けた話し合いなども行っています。

ミーティングで、通院の同行や話し相手がいない等、制度に当てはまらない地域の困りごとが見えてきた中、困りごとを解決するための仕組みづくりが必要となったことをきっかけに、地域の困りごとを解決する、住民参加による有償型の生活支援活動「いきいき生活サポート事業」が始まり、多くの地域住民に活用いただいています。

ネットワーク構築の第一歩

現在、「いきいき生活サポート事業」を利用されているAさんは、もともとは積極的に地域に出ていた方でしたが、高齢による難聴でコミュニケーションが取りづらくなり、地域活動に参加できなくなっていました。「話し相手が欲しい」というAさんの思いを知り、「いきいき生活サポート事業」を紹介しました。

Aさんとの筆談でのやり取りについて、サポーターから不安の声もあったため、担当するサポーターに集まってもらい、話し合う機会を設けました。「やってみないで心配してもしょうがないじゃない」と、笑顔でサポーターを元気づけてくれたのも第2層の生活支援コーディネーターでした。このような支援が、コーディネーターとサポーター、サポーター同士など、地域のネットワークの構築の第一歩であったと感じています。



地域のつながりを大切にしたい

三沢市では生活支援コーディネーターの活動からサロン事業や生活支援事業を展開しましたが、事業を通して、住民同士のつながり、担い手同士のつながり、そしてさまざまな機関、社会資源、制度とのつながりも意図し、誰もが孤立しない地域づくりを進めていきたいと思っています。第1層・第2層生活支援コーディネーターともに、「地域のつなぎ役」として役割を果たしていけるように今後も取り組みを続けていきたいです。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金			1,040万円		
	後遺障害保険金			1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額			6,500円		
	手術保険金	入院中の手術			65,000円	
		外来の手術			32,500円	
	通院保険金日額			4,000円		
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
地震・噴火・津波による死傷		×	○	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)			5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	550円	

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行食用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

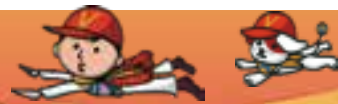
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



八戸あおば高等学院「ふれ愛・あおば食堂」

子ども食堂でのボランティア

ボランティアを通して
発見するやりたいこと

八戸あおば高等学院（以下、学院）では、生徒が社会貢献活動に積極的に参加できる取り組みを行っています。

その中のひとつが、こども食堂「ふれ愛・あおば食堂」と「八戸こども宅食おすそわけ便」開催時のボランティア活動で、生徒は開催準備のほか、地域の参加者と一緒に調理に参加するなどしています。

ふれ愛・あおば食堂って？

一人でご飯を食べることが多い方を対象に、みんなで楽しくごはんを作って食べ、遊んだり勉強したりしながら仲間作りをする場所。

高校生までは無料で参加可能で、先着順で申込を受け付けている。開催は不定期。

開催情報などの詳細は学院のHPで紹介中。



調理がきっかけで栄養士をめざす生徒もいます

学院に通う生徒は、さまざまな原因で不登校になった子どもたちや高校中退者なども多く、生徒のペースに合わせて社会とのつながりが持てるよう学院がサポートしています。学院では、ボランティアに参加することで社会性を身に付け、他者に共感する心を育む体験を大切にしています。活動の中で新たな目標や将来やりたいことを見つける生徒も多く、地域への貢献と同時に、生徒の成長のきっかけにもなっています。

八戸あおば高等学院の3年生にボランティアを体験して感じたことを伺いました。

さまざまな年代の人との
交流が魅力

学院に転学してから「ふれ愛・あおば食堂」と「八戸こども宅食おすそわけ便」のボランティアに積極的に参加しています。

寄附してもらったお米を2時間かけて小分けにしたり、届いた飲み物を1時間かけて倉庫に搬入したりするなど、事前準備に苦労することもあります。生徒みんなで協力して取り組んでいます。



回数を重ねてスピードアップ！

ボランティアに参加することで地域のさまざまな年代の人と関わり、ことができることも社会勉強になっていると思います。

こども宅食おすそわけ便って？

定期的に食品等を届けることで、社会的に孤立しがちな子育て家庭とつながりをつくることにより、必要な支援に結びつけ、小さな変化にも気づきやすい関係性を築くことを目的とするもの。



子育て家庭をみんなで
サポートしたい

ニュースなどの報道で耳にしましたが、子育て家庭の方と調理中などに話をし、改めて子育てにはお金がたくさん掛かるといふことに気付かされました。

こども食堂やおすそわけ便といった活動があることで、地域での助け合いになると学び、八戸市だけでなく日本全国の少子化対策にもなるのではないかと思います。今後も積極的に活動に参加して、支援を継続していきたいです。

掲載している活動について詳しく知りたい方は、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 ● メール：fukushi-net-aomori@aosyakyo.or.jp

● 電話：017-723-1391 ● FAX：017-723-1394

県社協HPに

最新情報

公開中！ ➡



活用 ~ソウェルクラブ~ ください 福祉の職場の福利厚生を支援

会員は
全国に
27万人

2022年度 青森県のお祝品贈呈実績

結婚祝い（1万円商品券又はお祝品）…………… 39件
出産祝い（1万円商品券又はお祝品）…………… 73件
入学祝い（5千円商品券又はお祝品）…………… 208件
資格取得記念（5千円相当の記念品）…………… 87件

【永年勤続記念品贈呈】

私の法人は昨年入会。
入会初年度ですが、永年勤
続15年目の記
念品をいただき
ました。



【会員交流事業】

家族で函館観光。会員交流
事業の助成金のおかげで、
温泉付きの客
室に宿泊でき
て、家族も大
満足でした。



勤務する法人に採用されてか
らの年数に応じて30年目ま
で5年毎に申請。記念品はラ
ンクアップしていきます。

新型コロナが落ち着き、旅
行、お食事会、観劇の各プ
ランで予想を大きく上回る
お申込みをいただきました。

「職員の確保・定着のために」ソウェルクラブを活用ください！

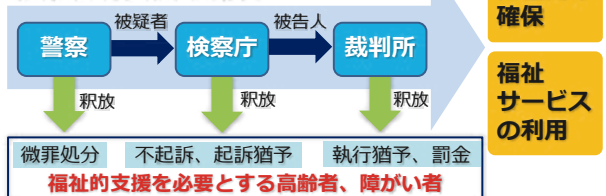
【問合せ先】 総務課 電話：017-723-1391

事業 紹介

被疑者等支援を 知っていますか？

青森県地域生活定着支援センターでは、令和2年度から刑事司法手続の入口段階にある福祉的支援を必要とする高齢者、または障がい者の支援（被疑者等支援）を行っています。被疑者等支援の実施については、青森地方検察庁や青森保護観察所、国選弁護士から支援依頼があり、互いに連携を図りながら当センターが帰住先の確保や福祉サービスの利用に向けた支援を行っています。支援の依頼件数は年々増加しており、特に青森地方検察庁からの支援依頼は、令和3年度は15件、今年度は19件の依頼がありました。主な依頼内容は、窃盗により不起訴、または起訴猶予処分となった高齢者、障がい者の支援です。

被疑者等支援の流れ



事業 紹介

～県社協の困窮者支援の現場から～ 【家計管理に課題がある方への支援】

生活困窮者の中には十分な収入があるにも関わらず「お金の使い方に課題があり、生活に困窮している」という対象者がたくさんいます。衝動買いやギャンブル、事業の失敗など理由はさまざま。また、多くの方は多重債務も一緒に抱えており「債務返済により家計が苦しい」「すでに債務返済ができていない」という困窮状況に陥っています。

自立相談支援事業では、家計に課題のあるケースに対して対象者への伴走支援を基本に、家族と世帯間の調整を図り、信頼関係を築きながら「家計の見直し」「債務の整理」などの家計改善支援を進め、世帯全体で課題の解決が図れるよう支援に努めています。



「家計改善支援」
をテーマに研修
会も開催してい
ます！

事業 紹介

青森しあわせネットワーク

青森県内の社会福祉法人が連携して「制度の狭間」の課題解決を図る取り組み「青森しあわせネットワーク」には、現在121の社会福祉法人に参画いただいています。2017年に87法人の参加でスタートした活動ですが、制度の手が届かない人に対し、社会福祉法人の使命を果たそうと考えている社会福祉法人が徐々に増えています。



中心的な活動である経済的援助（ライフサポート）は、2022年3月までに1587世帯に対し、33,657,921円分の支援を実施。応援金付き就労体験（ワークサポート）は、延べ57人が929日間体験。住まいのない人の支援を行う保証人確保支援事業は66件の契約を締結しています。



青森県社協が取り組んでいる活動をご紹介します！

実施しました 秋田県内の災害ボランティアセンターに応援職員を派遣

7月14日からの大雨により大きな被害を受けた、秋田県秋田市と五城目町の災害ボランティアセンターに、県内市町村社協職員の方々の協力をいただき応援職員を派遣しました。

異例の猛暑の中ではありますが、被災された地域住民の方々の一日も早い生活再建のために猛暑に負けない熱い支援を行いました。



県を超えたオール社協で支援しています！

活用ください 運営適正化委員会の福祉サービスの質の向上の支援

運営適正化委員会では、福祉施設・事業所における適切な苦情解決力向上のための支援を行っています。

苦情解決に関する研修会

運営適正化委員会に寄せられる苦情内容や傾向を踏まえ、苦情解決受付担当者、責任者、第三者委員を対象にした研修会を開催しています。

巡回訪問

福祉施設・事業所を訪問し、苦情解決体制整備、取り組みの支援を行っています。

研修会への参加や巡回訪問を希望される場合は「青森運営適正化委員会」【電話：017-731-3039】にご連絡ください

<研修のご案内>

日時	<動画配信期間> 令和5年11月13日(月)～12月22日(金)
対象	第三者委員、社会福祉事業等の経営者等
内容	福祉サービスにおける苦情とその対応ほか
受講料	1事業所2,000円

実施しました 保育士向け 就職サポート講座&相談会

令和5年9月に青森・弘前・八戸の3市で「保育士向け就職サポート講座&相談会」を開催し、講座13人、相談会10人の参加がありました。就職に役立つ貸付制度や求人・求職の状況などを情報提供したほか、保育現場で活かせる製作を行いました。講座の後に、保育士として就職を目指す方々から希望の条件を伺うなど、就職に向けた相談会をしました。

参加者からは「新しい制度や県内の状況などを知られて勉強になった」「ハロウィーン製作が楽しく学べた」といった声が聞かれ、就職に向けた一助となりました。



紙コップ製のランタンお菓子バッグとポリエチレン手袋でミイラ人形を作りました

実施しました 教職員の理解促進！ 高齢者と介護の仕事

中学・高校の家庭科等の教職員を対象に、高齢者や介護の仕事について理解を深めていただく講習会を8月、青森県総合学校教育センターで開催し13人の教職員が参加しました。最初に、本県の介護人材不足の課題や若い世代の参入促進の必要性を説明した後、授業で活用できる介護技術の演習や最新の福祉機器・介護ロボット活用方法などを紹介しました。

「介護職へのプラスイメージがもてた」「進路指導にも役立ちそう」といった感想が聞かれ、介護分野の理解促進の一助になりました。





社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 施設の医療事故補償
 - ・ 医務室の医療事故補償
 - ・ 看護職の賠償責任補償
- オプション3 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償
- オプション5 ● 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

- 2 個人情報漏えい対応補償
- 3 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- 2 役員・職員の傷害事故補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



介護現場の質の向上に向けて！ 「介護サポーター」採用事業

青森県福祉人材センターでは、介護現場の質や作業効率の向上を目指す法人を支援するために「介護サポーター」採用事業を実施しています。介護サポーターは、介護職員が専門的な業務に専念できるよう、配膳や清掃などの家事的業務を行います。担い手は元気な中高年齢者が多く、資格の有無に関わらず、地域の潜在的マンパワーの発掘にもつながっています。

参加法人の声

「介護職員の負担が軽減した」「利用者と接する時間が増えた」



介護サポーターの声

「希望する勤務時間で働くことができた」「自分が必要とされていることでやりがいを感じた」



詳しくは本会ホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

【問合せ】青森県福祉人材センター
電話：017-777-0012

公式インスタグラム 開設!

青森県保育士・保育所支援センターでは、保育士等として働きたい方の就職のサポートを充実するため、公式インスタグラムを開設しました。求人やイベント等の情報を発信していきますので、フォローをお願いします。



また、当センターでは、電話やメール、オンライン、来所で保育のお仕事の相談に応じていますので、お気軽にお問合せください。

【問合せ】青森県保育士・保育所支援センター
電話：017-718-2225

求職者と求人事業所の懸け橋に！ 福祉人材センターの就職支援

青森県福祉人材センターでは、福祉分野への求職者をお手伝いする「無料職業紹介」を実施しています。求職者のニーズは多様化しており、全てにマッチした求人はなかなかありません。そこで、当センターの4名の「キャリア支援専門員」が福祉施設を巡回訪問し、求職者のニーズに基づいた求人開拓を行っています。



「自宅付近の勤務先で夜勤無し」「送迎の運転手のみ」「夜勤専従」など求職者のニーズはさまざま

また、当センターでは人材が定着するための離職防止研修や社労士・弁護士等による施設経営相談も行っていきます。求職者・事業所の皆様、ご利用ください。

【問合せ】青森県福祉人材センター
電話：017-777-0012

がんの超早期発見は、早期検査から。

世界初 がんのリスク早期発見サービス



尿1滴で全身15種類のがんリスクも判定

スマート介護
介護・福祉施設向けデリバリーサービス

コスト＆手間の軽減で
業務効率UP!

充実の商品
ラインナップでサポート
約20,000アイテム

介護施設で働く
すべての皆さまをお手伝い!

Airdog

CMでおなじみ
世界最強レベルの空気清浄機



株式会社ヒグチで

販売中



お届けしたいのは
期待を超える価値と笑顔です

HIGUCHI 株式会社ヒグチ

青森市問屋町一丁目 15-22 ☎017-738-3661
八戸市下長四丁目 5-4 ☎0178-38-8411



みなさまの善意に感謝！

令和5年7月～9月分 寄附・預託のご紹介



● 青森県社協への寄附

青森県社協が実施する事業や福祉団体への支援等に役立てるための寄附をいただきました

寄附者名 (敬称略)	寄附金額 (円)
公認会計士・税理士 小野寺高事務所	40,407
日本原燃株式会社	161,100
富士電機 (株) J-MOXゴルフコンペ	76,000
株式会社ベルジョイス	5,965
匿名希望 (1名)	3,000
合計	286,472

寄附者名 (敬称略)	寄附内容
藤イベント企画代表 藤はじめ	車椅子 1台

寄附や預託、贈呈式の様子をHPで紹介しています。贈呈式は写真付きで掲載中。ぜひご覧ください。



寄附ページはこちら



青森県ボランティア・市民活動センターのfacebookはこちら



● 青森県善意銀行への預託

善意銀行を通して福祉施設や団体に金銭や物品等の寄附をいただきました

預託者名 (敬称略)	預託内容	払出先名 (敬称略)
青森県中部地区郵便局長婦人会	使用済み切手 14kg	NPO法人誕生日ありがとう運動本部
日本原燃株式会社	ふれあいコンサートチケット10枚	障がい者施設利用者
青森スポーツ振興会	みちのくプロレス招待 希望者全員	福祉施設利用者 (希望者全員)

● 青森県社協への寄附を受け付けています ●

青森県社協へ寄附をいただける場合は、青森県社協HPから「寄附申込書」をダウンロードの上、必要事項を記入いただき、下記までFAXまたは郵送でお送りください。記入いただいた連絡先へ、寄附担当者からご連絡いたします。寄附についてご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

県社協HP
寄附ページは
こちら



◆ 「寄附申込書」の送付先 ◆

住所：〒030-0822 青森県青森市中央三丁目20番30号
社会福祉法人青森県社会福祉協議会
FAX：017-723-1394

◆ 寄附に関する問合せ先 ◆

担当：総務課 総務係
寄附担当者
電話：017-723-1391

がんを含む
病気やケガの備えに

手軽に備える医療保険
EVER
シンプル

No.1

アフラック
がん保険・医療保険
保有契約件数
令和4年版 インシュアランス生命保険統計号

心配な「がん」の備えに

●契約年齢●
0歳～
満85歳まで
※ご契約内容により異なります。

「生きるを創る
がん保険
WINGS

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

株式会社RAB企画 ☎0120-55-7064 FAX017-739-3598
〒030-0113 青森市第二間屋町3丁目2-35

- アフラックサービスショップ青森柳町店 〒030-0861 青森市長島2-25-4 ☎017-721-3151
- 八戸支店 〒039-1166 八戸市根城5-5-27 青森放送八戸支社3F ☎0178-43-8610
- アフラックサービスショップ八戸下長店 〒039-1164 八戸市下長1-6-20 ☎0178-21-1730
- 弘前支店 〒036-8355 弘前市元寺町25-1 青森放送弘前支社1F ☎0172-35-1881
- むつ支店 〒035-0033 むつ市横迎町2-16-8 ☎0175-33-8215

〈引受保険会社〉

「生きる」を創る。 **アフラック**
Aflac 青森支社
〒030-0802 青森県青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビルディング9F
Tel.017-777-0963 Fax.017-777-0942

AFツール-2023-0324-2308009 8月14日

スポットライト

社会福祉法人弘前乳児院で家庭

支援専門相談員兼
主任として活躍し

ている

ながお
長尾 麻美さんに

スポットライト!



乳児院とは？

乳児院は児童福祉法に基づく児童福祉施設で、さまざまな事情により家庭で育てることが困難な乳児をお預かりし、保護者に代わって健やかに育てることを目的とした施設です。生後2日目の新生児から、就学前の幼児までが対象となります。青森県内には3箇所の乳児院があります。

弘前乳児院はどんなところ？

現在は、生後1ヶ月から4歳の計14名のお子さんをお預かりしています。職員は34名で、直接処遇職員と呼ばれる主に養育を担当する看護師や保育士を始め、各専門職員が1丸

となり子ども達を支援しています。

また、一時的にお子さんをお預かりするショートステイ事業や、里親制度のガイダンスや研修、アフターケアを含めたサポートを行う里親養育包括支援事業を実施しています。

乳児院で働くきっかけは？

弘前乳児院での実習が1番のきっかけになったと思います。保育園、幼稚園での実習も経験しましたが、当時の私には、より子ども達と密に関わることができる乳児院がとても魅力的に映りました。アットホームで明るい雰囲気にも惹かれ、学校を卒業後すぐに、弘前乳児院の門を叩いたという形です。



【読み聞かせタイム】
優しい表情の長尾さん

どんなお仕事をしていますか？

家庭支援専門相談員として、児童相談所と連携しながら、保護者に対して電話や面会による相談援助等の支援を行っています。双方の橋渡し役や乳児院の窓口としての業務を兼ねているイメージです。お子さんをお預かりする上で、保護者との信頼関係がとても重要になるため、プレッシャーを感じる部分もありますが、少しでも心が軽くなってもらえればと、一人一人の保護者に寄り添いながら支援することを心がけています。

印象に残っている出来事は？

乳児院では担当養育制と違って、一人の職員が入所から退所までを一貫して担当していますが、最後に担当したお子さんが印象に残っています。乳児院から幼稚園にも通い、最



【相談対応業務中】
キリッとした表情の長尾さん

終的に児童養護施設へ送り出したのですが、数年後、そのお子さんから「会いたい」というお手紙が届きました。当たり前のことですが、私達との関わりを忘れてしまう子どもも多し、そういったお手紙が届いたり、実際に会いに来てくれたりするお子さんもいて、巣立って行った子ども達との繋がりを感ずる度に、温かい気持ちになります。

今後の目標を教えてください！

弘前乳児院では、地域の皆様の子育てを支援するため、母親力フェアや乳児院まつり等を開催しています。また、青森県内の社会福祉法人が連携して行う社会貢献活動「青森しあわせネットワーク」に参加し、総合相談、経済的援助、食料の提供等、地域の皆様の「困った」課題に対する支援を行っています。その中で改めて地域との繋がりを意識するようになり、その関わりの輪が少しずつ大きくなっていくという実感もあります。その輪を更に広げ、地域の皆様に「乳児院に行けば何とかなるかも」と頼られる存在になっていくことが私の目標です。

県社協から

青森県社会福祉協議会のインスタグラム
「AOMOSHIAWASE」で
最新情報をチェック!

みんなの居場所カレンダー

県内各地で開催されているこども
食堂・みんなの居場所の開催日を
毎月投稿しています!



イベント紹介

これまでに開催した勉強会や
研修会の様子をお伝えします!



Next innovation
会社が培った情報という財産を次の時代に活かす。

ACS 株式会社 青森電子計算センター

■本社 / 青森市大字三内丸山393-270 (西部工業団地内) TEL 017-761-5300
■八戸支店 ■東京支店 ■弘前営業所

福祉に関わる皆様へ

ドライバーにもしもの時の安心を
自動車総合共済



福祉施設割引 (10%) 福祉車両割引 (3%)
福祉施設職員割引 (5%) 障害者割引 (10%)

県火災あおもり
青森市新町2丁目8-26 TEL 017-777-8111 (青森本部)

YAKINIKU・OH
KOYANAGI

焼肉オー小柳通り本店
青森市はまなす1-17-26
017-718-3444
定休日 木曜日 / 駐車場 あり

営業時間 昼 11:30~15:00 (L.O.14:15)
営業時間 夜 17:00~22:00 (L.O.21:15)

「お客さまの安心と満足」を
お届けするために。

- 自動車保険
- 病気・けがの保険
- すまいの保険
- 就労不能に備える保険
- 損害賠償の補償
- 従業員の退職金対策

保険を通じて皆さまの「挑戦」を支え、地域とともに成長します

MS&AD 三井住友海上エイジェンシーサービス株式会社

三井住友海上エイジェンシーサービス株式会社は
MS&ADインシュアランスグループの一員としてSDGsに取り組んでいます。

【青森支店】 青森市橋本2-19-3 三井住友海上青森ビル4階 TEL : 017-718-5559
【八戸支店】 八戸市柏崎1-11-18 シエナビル4階 TEL : 0178-43-3351
【むつ支店】 むつ市金谷1-9-25 GOLDEN VALLEY OFFICE TEL : 0175-33-0291